


市長のタウンミーティング 西布施地区

(敬称略)

| | | |
|---|------|---------------------------|
|  | 開催日時 | 令和元年10月29日(火) 19:00~21:00 |
| | 会場 | 西布施交流館 |
| | 参加人数 | 37名 |
| | 開会挨拶 | 西布施地域振興会長 佐々木 和允 |
| | 書記 | 楠 元気 |

市政への提案、意見

| 番号 | 地区名 | 項目 | 内容 |
|----|-----|-----------|--|
| 1 | 西布施 | 生活環境 | 県内の各市町村の除雪費を見たことがあるが、魚津市は少ない印象がある。1週間程度除雪をすると除雪費がなくなると思うがどうなのか。 |
| 2 | 西布施 | 財政健全化 | 今後5年で約5億円節減することをイメージできないのだが、可能なのか。 |
| 3 | 西布施 | 行財政改革 | 新しい事業を控えて、身の丈に応じた予算の執行をしてもらいたい。星の杜小学校建築について、入札金額(予定価格)が10億円程度で不調になり、補正を組んで見直ししたと聞いた。設計段階で精査しているのに、実際入札したらだれも引き受けられないような設計をしている業者に対して、お金を支払っている業務のやり方を信頼できない。市役所でしっかり確認してもらいたい。財政改革の話し合いを何度もしていると思いますが、数字に詳しい税理士や会計士といった中身のわかる人を増やした方がいいのではないですか。 |
| 4 | 西布施 | 市職員の給料カット | 5000万円ほど職員の給料削減の話がありましたが、入庁1年目の職員も対象ですか？ 議会で質問した人たちが責任をとればいいのではないのですか。例えば市議会議員が全何万円などにすればよかったのではないかと。 |
| 5 | 西布施 | 公共施設 | 石川市長の時代に市会議員からの質問で、魚津水族館は毎年2000万円程度市が補填しているが、旭山動物園など(他の施設)では努力してたくさん利益を出している。魚津水族館はなぜこんな議論(努力の有無、市の補填)しないといけないのかと言っていた。最近では市会議員から水族館の努力についての議論がないのでは。 |
| 6 | 西布施 | 河川整備 | 布施川上流にある洪水調整の布施川ダムにも土砂がかなり堆積している。(台風19号によって)千葉県でも浸水被害が発生したので、先ほどの布施川の件に併せて、ダムの堆積土砂も搬出していただきたい。 |
| 7 | 西布施 | 行財政改革 | 市でいろいろな事業をしていると思いますが、事業の目的ははっきりしているのか？先ほど市長談話の最後に「市役所はそれを応援しています。」言われましたが、応援というのはおかしいと思う。むしろ、「こういうことをするので、みなさんこうしましょう。」であってほしい。数値目標を持って、市役所でも方向性を示してほしい。全てにおいて目的をもって、いつまで、誰が、何をするのかを教えていかないといけないと思う。 |
| 8 | 西布施 | 公共施設 | 公園については、魚津市は数が多く、無くした場合には地域から問題が発生するかもしれないが、売却ができるのであればしてほしいと私は思う。反対に、(集客が多いような)残さないといけない施設には工夫をして投資をすることで、また大勢の人が来るようになる施設もあると思う。知恵を絞って、続けて頑張っていたいただきたい。 |

令和元年度 市長のタウンミーティング実施報告書

| | | | | | |
|--------|---|----------------|-----------------------------------|------|-------------|
| 地区名 | 西布施地区 | 日時 | 10月29日(火) 19時00分より 21時00分まで | 参加者数 | 37名 |
| 会場名 | 西布施交流館 | 司会 | 企画政策課 上田 哲也 | 書記 | 建設課 楠 元気 |
| 市側の出席者 | 市長 村椿 晃 副市長 四十万 隆一 教育長 畠山 敏一 各部長ほか | 地区からの 主な参加者 | 地域振興会長代行、各種団体関係者ほか | | |

1. あいさつ

西布施地域振興会 会長 佐々木 和允

2. 市長談話

市長 村椿 晃

- ① 「行財政改革の推進」について
 - 人口推移・推計・市の目標について
 - 財政状況について
 - 財政健全化計画について
 - ・公共施設の再編及び使用料の見直しについて
 - ・職員数の削減について
 - 産科構想の中止について

- ② 「魚津市総合計画の策定」について
 - 特定政策分野における取組について
 - ・子育て支援
 - ・教育環境の充実
 - ・観光振興
 - ・産業振興
 - ・魅力的なまちづくり
 - 人口減少・高齢社会対策について
 - ・移住・定住の促進
 - ・健康づくりの推進
 - ・誰もが暮らしやすいまちづくりの推進
 - 市民意識調査の結果について
 - 地域づくりの経過と各地区における事業について
 - 次期総合計画の策定について

3. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

◆「行財政改革の推進」について

○除雪費について

2015年には約25億円あった基金が、数年で約10億まで減少したことについて、その理由の1つに除雪費のことを挙げられていました。通常、除雪費を約5000万円しか組んでないと思いますが間違いはないですか？

（村椿市長）

当初予算で組んでいるのは固定費であり、雪が降るかどうかに関係なく必要となる経費分になります。実際に降雪の際に出動して頂いた業者にお支払いする除雪費は補正で対応しています。その補正を含めて、通常の年は約8,000万円から1億円かかっていますが、2017年だけは約4億円かかりました。

通常でも8,000万円から1億円かかっている除雪費を当初5,000万円しか組まない理由は何ですか？

（企画総務部長）

重機の維持管理費等、降雪に関係なく発生する費用があります。加えて、年間で何日間、何円という考え方で予算を組んでいます。本当は余裕をもって予算を組みたいが、基金を取り崩している現状、補正で対応しています。

県内の各市町村の除雪費を見たことがあり、魚津市は少ない印象があります。1週間程度除雪をすると除雪費がなくなるとは思いますが、どうですか。

（企画総務部長）

除雪費としての予算では言われる金額になりますが、予備費という何にでも使えるお金で対応しています。魚津市の場合、市内全域を除雪すると一晩で1,000万円の除雪費がかかります。そのため、集中して除雪をする必要が発生すると、2017年のように補正（専決）する必要があります。

毎年補正を組まれて、基金から取り崩しをされているのかもしれませんが、その一方で、特別交付金は入っていないのはなぜですか？

（企画総務部長）

通常、北陸の場合は特別交付税ではなく普通交付税であり、寒冷地の場合には割増があります。特別交付税が発生するケースは、2017年の福井県での豪雪といった交通が麻痺するほどの最大級の降雪の場合です。

普通交付税として戻ってきている1億円は一般会計のように自由に使えると思いますが、その場合、除雪は基金が減少した理由にならないのではないですか？

（企画総務部長）

除雪でかかった費用が国からお金が戻ってくるわけではありません。前年から繰越金が発生した場合には、基金を取り崩すのではなく、繰越金を補正に充てることもあります。

基金が減少した状況は、（家庭の貯金を例に）家を建てる場合、費用が貯まってから建てる方法（基金を使わず、予算を確保する方法）もありますが、借金が返済できる計画ができた段階で先に建てる方法（一時的に基金から借金をして、積み立てていく方法）もあります。

学校統合の例でみると、子どもの教育環境を良くするために集中的に事業を実施しました。統合して8校減少した場合に、1校10億円で計算すると80億円であり、50年の耐用年数でみると1億6,000万円の経費節減を先駆けて実施したことになります。一時的に基金は減少していますが、今後は市長が言ったように、災害などのいざという時に対応でき

る基金額まで戻せるように計画を立てているところです。

交付金には除雪自体の費用が含まれているのではないのですか？

(企画総務部長)

雪が降ったからといって国から交付金はありません。大雪だった2017年は特別で、建設機材などで通常より多い3,000万円が交付されましたが、たとえ除雪費が1億円かかったからといって国から1億円交付されることは一切ありません。

○行財政改革について

今後5年で約5億円節減することをイメージできないのですが、可能なのですか。

(村椿市長)

大丈夫です。今の魚津市の予算規模になったのは平成28年からで、その年は約185億円でした。180億円台が平成28年、29年、30年と続き、今年は約170億円です。それまで(平成27年まで)の予算規模は160億円程度でしたので、いかにこの4年間に事業が集中したのかということです。

例えば、今までの家計が80万円の家計だったのを100万円に引き上げていたわけです。これを80万円の家計に戻す。もっと言うと、市の人口が減少しているので、75万円の家計にしないと行けません。今後、集中行っていた事業がなくなっていくます。それに併せて、当面その影響が少し残っていますので、今までよりも少しだけ我慢する生活をしましょう。おそらく来年の予算規模は以前の規模に近くなります。そうすれば、5年間で着実に今の5億円を解消することになります。

本当に貯金できるのかということについて、予算を全部使い切ると貯金できませんが、過去の状況を見ると3億円から5億円くらいは節約して残すようにしています。これを続けていけば5年間で10億円は戻っていきます。あまり細かい実例で説明できなくて申し訳ありませんが、無茶な計画ではありません。膨らんだ生活規模を戻すことが最初なので、そのように理解していただきたいです。

○星の杜小学校建築事業等について

新しい事業を控えて、身の丈に応じた予算の執行をしてもらいたいです。

星の杜小学校建築について、入札金額(予定価格)が10億円程度で不調になり、補正を組んで見直ししたと聞きました。設計段階で精査しているのに、実際入札したらだれも引き受けないような設計をしている業者に対して、お金を支払っている業務のやり方を信頼できません。市役所でしっかり確認をしてもらいたい。

財政改革の話し合いを何度もしていると思いますが、数字に詳しい税理士や会計士といった中身のわかる人を増やした方がいいのではないのですか。

(村椿市長)

まず、学校の件についてはご指摘の点についてはよくわかります。議会でも問題になって議論がいろいろされました。設計を見直して、本来こうしたいというものをやめたりしながら、それでも当初よりも増えました。当初の設計が甘かったと言われたら返す言葉がありませんが、整備計画に沿ってやろうと努力をしたつもりです。ご不満な点はたくさんあると思いますが、これからそういった点注意していかなければならないと思います。

それから、行財政改革の委員の話については、専門的な会計の知識を持つ方もいますが、市役所の数字はむしろもっと簡単です。企業みたいに複雑ではなくわかりやすいです。ど

これを節約したらよいかについてしっかり議論をしました。最後は市民のみなさんに痛みが出てくるところがあるので、そのことを丁寧に説明して、がんばっていっしょにやっていきたいということを説明していきたいと思っています。

○職員の給料カットについて

5000万円ほど職員の給料削減の話がありましたが、入庁1年目の職員も対象ですか？議会で質問した人たちが責任をとればいいのではないのですか。例えば市議会議員が全何万円などにすればよかったのではないか。

(村椿市長)

部課長は5%、1年目の職員は1%です。市議会議員も5%削減しています。

議会で賛成していろいろ執行しているわけで、その人たちの割合を上げるようになぜ言えなかったのですか？何も知らない入庁したばかりの人たちが給料を減らされるのは可哀想ではないか。普通の会社の場合は役員が責任を取っています。一般の職員が給料削減したとは聞いたことがない。

(村椿市長)

私も可哀想だと思います。イレギュラーな給料削減はできるだけ早く、若い人ほど早く解消したいと思っています。

○公共施設について

石川市長の時代に市会議員からの質問で、魚津水族館は毎年2000万円程度市が補填しているが、旭山動物園など(他の施設)では努力してたくさん利益を出している。魚津水族館はなぜこんな議論(努力の有無、市の補填)しないといけないのかと言っていた。最近市会議員から水族館の努力についての議論がないのでは。

(企画総務部長)

ありそドームの例で言うと、年間約8000万円弱経費がかかっている部分を、利用者から頂いた収入の割合が約17%で、あとは市の税金で維持管理費を見えています。

水族館については、使用料の収入で足りない費用は、人件費など全部含めて1億円であり、税金で維持しているのが実態です。人件費は税金である程度見て、光熱水費は使用料で賄っているのが実態です。少し利用料金を引き上げたことによる利用者が減る可能性については努力していき、入館料が占める割合を上げていきたいと思っています。(旭山動物園など)他の施設例を挙げられましたが、魚津水族館もなんとか努力したなかで、4万人ちょっとの水族館で維持したいと思っています。また知恵がありましたらご提案いただくとありがたいです。

◆「魚津市総合計画の策定」について

○布瀬川の工事について

長年、布施川に石などが堆積して川底がかなり上がっており、ゲリラ豪雨のときに、堤防決壊ではなく溢水しないか心配しています。中陣橋で工事していますが、そのまま上流に延長してほしいです。管轄は県になると思いますが、市から後押しをしていただきたいです。

(村椿市長)

全く同じ認識を持っています。県は緊急の対策として3年間で県内の河床整備をしていますが、3年で終わる(十分に完了する)わけがありません。川の整備は喫緊の課題とされており、市としても3年間で終了しないように県に要望をしようと思っています。国にも働きかけようとして取り組んで参ります。しっかりと安全対策を進めていきたいと思っています。

○布施川ダムの土砂について

布施川上流にある洪水調整の布施川ダムにも土砂がかなり堆積しています。(台風19号によって)千葉県でも浸水被害が発生しましたので、先ほどの布施川の件に併せて、ダムの堆積土砂も搬出していただきたいです。

(村椿市長)

ダムの保全工事がどこまでできるのかについては、いろいろ課題があると思いますが、今回の(台風19号による)水害を見ていると、ダムの水位調整が災害に結びついたケースもあるので、市としてもダム管理者と相談をもっと密にやらないといけないという意識です。

○市の事業について

市でいろいろな事業をしていると思いますが、事業の目的ははっきりしていますか？先ほど市長談話の最後に「市役所はそれを応援しています。」言われましたが、応援というのはおかしいと思います。むしろ、「こういうことをするので、みなさんこうしましょう。」であってほしい。数値目標を持って、市役所でも方向性を示してほしい。全てにおいて目的をもって、いつまで、誰が、何をするのかを教えていかないといけないと思います。

(村椿市長)

やるべきことの到達点を見据えて、到達できたのか、あるいは何が足りなかったのかが、次の仕事をする上で大事なことだと思います。

どんな目標を立てればいいのかということが難しいというのもあり、できるだけ具体的な範囲の目標を立てていくことが大事だと思います。一步一步やることで達成感がありますし、住民にも説明ができますので、そういう姿勢はとっていく必要があると思います。

新しい総合計画を立てていく上でも、どういった数値目標を立てるのかはとても大事なことだと思いますのでご指摘の点についてはしっかり踏まえて考えていきたいと思っています。

○公共施設再編等について

吉田グラウンドや西布施保育園などの施設は5年間で廃止されますが、これら以外で赤字になっている施設についてはそのまま継続するのですか。何十年前から厳しい状況と言われていたが、今になって計画が出されており、今まで市役所では協議されていなかったように勘違いされます。民間への委託の話も大いに考えてほしいと思います。

公園についても魚津市は数が多く、無くした場合には地域から問題が発生するかもしれませんが、売却ができるのであればしてほしいと私は思います。反対に、(集客が多いような)残さないといけない施設には工夫をして投資をすることで、また大勢の人が来るようになる施設もあると思います。知恵を絞って、続けて頑張っていたきたい。

市職員の給料削減については年数を決めてはいないのですね。入庁1年目の人は可哀想だと思います。議員は市職員の給料削減が決定してから手を挙げるやり方はどうかと思います。これだけ削減に向けて頑張っていると毎年報告してほしいです。

防災の話について、実際に避難をしたときに毛布1枚もないのですが、自前で用意するものなのですか？段ボールもないのですが、地区で用意する必要があるのですか？ラジオなどを聞いているとハザードマップ(の被害想定箇所)に入っていない場所が被災していることは現実には起きていることもありますので対応をお願いしたい。

(企画総務部長)

防災については、10月12日(台風19号)では、自宅にいたことが不安という声が市にも何回かありました。避難勧告には至らない程度と判断しましたが、思い切って13地区全て自主避難所を開設しました。会長の言われるようにそれぞれの避難所に毛布や備蓄品があるといいのですが、開設してから状況に応じて、備品などを運ぶという体制や、段ボールのことも課題であり、どういった方法がいいのかを模索しているところであり、足りない部分は今後の参考にしていきたいと思います。